



# TOSTEM リビング建材 ウッディーライン 室内ドア 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲警告** …取付けを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

## ▲警告

- 下記のような医用電子機器を使用されている方は、操作を行わないでください。  
各医用電子機器に誤作動をまねくおそれがあります。  
(1) ペースメーカー等の体内埋込型機器 (2) 人工心肺等の生命維持用機器 (3) 装着型の心電計等

## ▲注意

- 本体を吊込んだ後、本体側上丁番の軸を必ず押下げてください。軸が下がっていないと、本体脱落の原因となります。
- 建付け調整後本体・枠への固定ねじおよび丁番本体の止めねじが必ず締まっていることを確認してください。丁番固定ねじの締忘れ・ゆるみなどは、本体脱落の原因になります。
- フラップが立ち上がったままになっている場合は、必ず手で倒してください。思わぬケガをするおそれがあります。
- 扉を開放しておくときは、必ずロックレバーを下げて扉を固定してください。  
扉が強風で強く閉まり思わぬけがをするおそれがあります。

## ■取付け上のおお願い

- 枠取付けの際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
- 造作材の取付け・建具のかい木には、必ず接着剤(現場手配)を併用してください。  
かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤(現場手配)を塗布してください。
- 現場で使う接着剤は、「F☆☆☆☆」又はノンホルムタイプを使用してください。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。  
締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 本製品の組立て・取付け時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂下がり・ゆがみなどの原因となります。(本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。)
- 造作材・建具枠の下地材には、必ず乾燥材(含水率20%以下)を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから取付けしてください。
- 枠の組立て後、ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損の原因になります。
- 丁番は指定のねじで締付け、ガタツキのないように固定してください。調整後ガタツキがないことを確認してください。
- 建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には、すき間をつくって納めてください。
- 縦枠と柱・間柱とのすき間は、枠固定金具を調整して柱にあてて内装ボードを必ず縦枠に突きあててください。突きあてができない場合はかい木を入れてください。
- 上枠とまぐさのすき間は必ずかい木を入れてください。
- かい木には、合板などの乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 造作材・建具枠をコンクリートやモルタル(床面)に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。
- ドアストッパーを壁に取付ける場合は、補強材が入っていることを確認してください。
- 軽量鉄骨に直接取付ける場合は、同梱のLDビスでは取付けできません。現地にて鉄骨までかかる長さのねじを手配してください。  
※建築工事中は、ドア本体を養生・保全のため取外しておき、取付け完了後に吊込むことをおすすめします。

■部品・部材の明細

【標準ドア・トイレドア・親子ドアの場合】

ドア本体 <b>■アルミ扉以外の場合</b> ●内蔵型ドア ストッパー床付け 部品セット (アルミ扉以外にのみ 同梱。) <b>■アルミ扉の場合</b> ●部品セット (アルミ扉のみ同梱。 上丁番加工部に 張付けてあります。) ハンドルセット 錠セット	3方枠 ●縦枠(2本) (親子ドアの場合、丁番付き2本) ●上枠 ●部品セット ●取付け説明書 ●縦枠用 戸当たり(2本) ●上枠用戸当たり ●枠定規(施工用具)	ケーシングセット (ケーシングタイプのみ)
	4方枠 ●縦枠(2本) (親子ドアの場合、丁番付き2本) ●上枠 ●部品セット (2個) ●取付け説明書 ●ツバなし薄沓すり ●縦枠用 戸当たり(2本) ●上枠用戸当たり	
	ツバ付薄沓すりセット(別売り) ●ツバ材(2本)	埋込沓すりセット(別売り) ●埋込沓すり ●溝フタ
	召合せ定規セット(親子ドアのみ) ※召合せ定規の取付け方法は、 親子ドア本体用部品セットの チラシを参照してください。 ●部品セット	

■枠セット明細

	標準ドア	トイレドア	親子ドア
縦 枠	2	2	2
上 枠	1	1	1
戸当たり	縦2・上1	縦2・上1	縦2・上1
(※1)枠定規	1	1	1
(※2)ツバなし薄沓すり	1	1	1

※1)3方枠の場合、4方枠には含まれません。  
 ※2)4方枠の場合、3方枠には含まれません。

■ケーシングセット明細

上用ケーシング	2
縦用ケーシング	4

■本体丁番ねじセット明細  
 (枠に同梱、丁番にテープ止め)

●本体取付けねじ(皿タッピンねじφ4×20) 8本

※アルミ扉の場合は、ドア本体に同梱の専用丁番  
 ねじセット(皿木ねじM4×25)を使用してください。

■ハンドルセット明細

ハンドルセット	1組
台座セット	1組
ハンドル固定ねじ	1本

■錠セット明細

錠座セット	1組
-------	----

■内蔵型ドアストッパー床付け部品  
 セット明細

床付け部品	1個
床付けカバー	1個
床付け治具	1個
床付け部品取付けねじ (皿タッピンねじφ3×12)	2本

■取付け範囲(単位:mm)

対象壁厚	ケーシングタイプ				
	薄壁用	厚壁用			
111~141	142~182				
対象壁厚	ノンケーシングタイプ				
	NC90	NC115	NC156	NC171	NC180
50~75	76~100	116~130	131~145	146~160	

■部品セット明細

標準ドア・トイレドア用	3方枠	4方枠
組立て用皿木ねじ M4×50	4本	8本
上枠取付け用DNビス(皿木ねじ)φ3.8×50	※7本	※7本
縦枠取付け用ナベタッピンねじφ4×40	6本	6本

※予備用4本含む。

標準ドア・トイレドア用(NC90/115)

	3方枠	4方枠
組立て用皿木ねじ M4×50	4本	8本
枠取付け用DNビス (皿木ねじ)φ3.8×50	13本	13本

親子ドア用

	3方枠	4方枠
組立て用皿木ねじ M4×50	4本	8本
上枠取付け用DNビス(皿木ねじ)φ3.8×50	※8本	※8本
縦枠取付け用ナベタッピンねじφ4×40	6本	6本
フランス落とし受け	1個	1個
フランス落とし受け取付け用 皿木ねじφ3.5×13	2本	2本

※予備用4本含む。

●ドアストッパーセットは別売りです。

親子ドア本体用

ピース L/R	各1個
召合せ定規取付けねじ (ドラスタッピンねじφ4×16)	14本
召合せ定規取付けチラシ	1個

ツバ付薄沓すり用

組立て用トラスタッピンねじφ4×25	4本
--------------------	----

埋込沓すり用

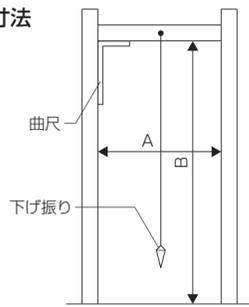
取付け用ナベタッピンねじφ4×40	4本
-------------------	----

■開口部の作り方

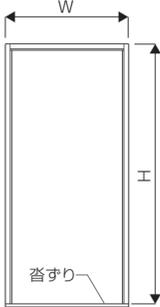
※開口部の水平・垂直を正しく出してください。

開口寸法A	製品寸法W+5mm
開口寸法B	製品寸法H+床厚+5mm

●開口寸法

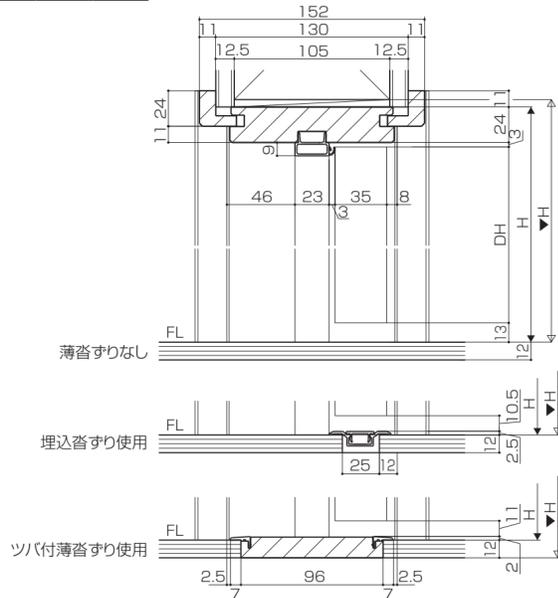


●製品寸法

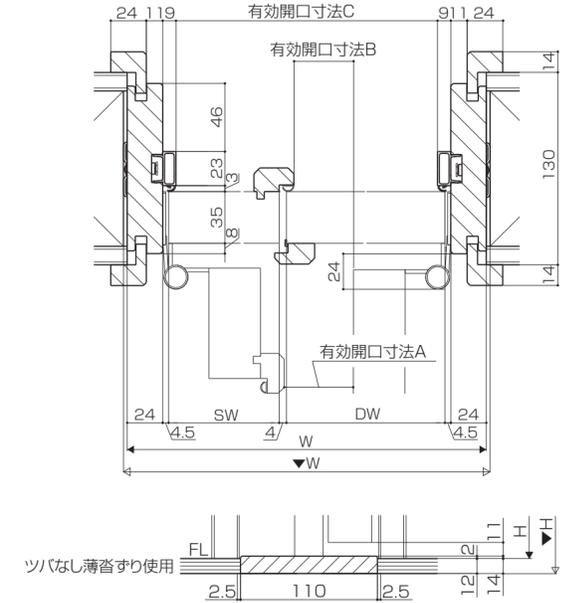


■親子ドアユニット ケーシング付

W呼称(枠外寸法)	A寸法	B寸法	C寸法	●縦断面図
W12 (1188)	991	657	1122	



●横断面図



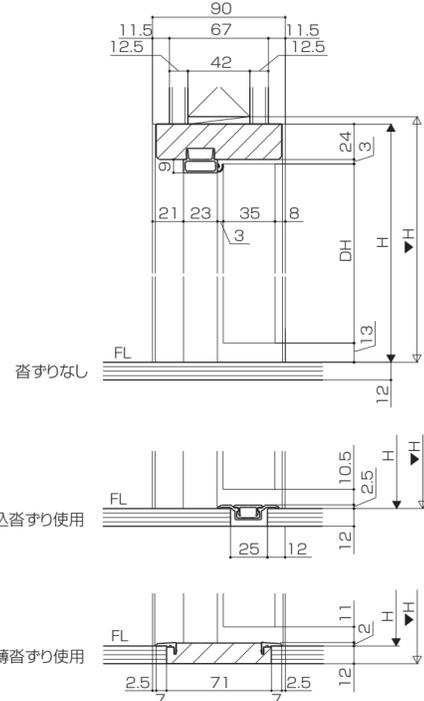
※枠の見込み寸法が変わっても、沓すりの位置  
 は縦枠の開き側より共通の位置となります。

■標準/トイレドアユニット(NC90)

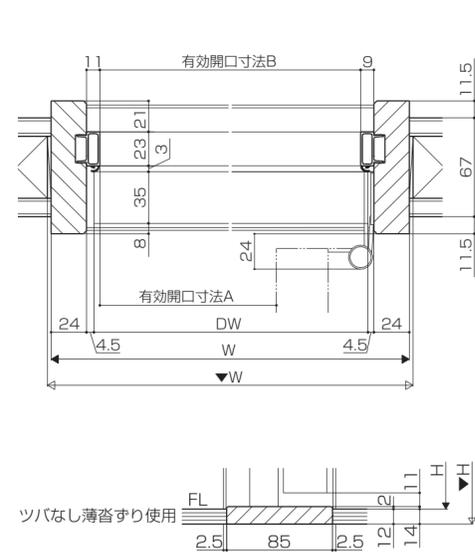
H呼称(枠外寸法)	A寸法	B寸法
H18 (1823)		
H20 (2023)		

標準 ドア	W呼称(枠外寸法)	A寸法	B寸法
W06 (754)	629	686	
W07 (780)	655	712	
W08 (824)	699	756	
W09 (868)	743	800	
トイレ ドア	W06 (648)	523	580
W07 (780)	655	712	
W08 (824)	699	756	

●縦断面図



●横断面図



※枠の見込み寸法が変わっても、沓すりの位置は  
 縦枠の開き側より共通の位置となります。

9 オプションドアストッパーの取付け

**■床・壁取付け用(別売)**

取付けねじ ドア本体 キャッチ  
取付けねじ 床面

**■本体取付け用(別売)**

ドアストッパー本体 取付けねじ

**■床取付け用(別売)**

取付けねじ ドアストッパー  
ストッパーゴム

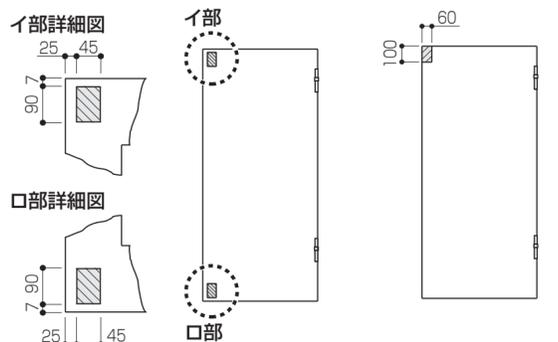
※このドアストッパーは、ドア本体付け・壁付け兼用タイプです。

**■本体上部取付け用(別売)**

本体上部に必ず加工をしてください。  
※アルミ扉のドア本体には、取付けられません。

**■本体取付け用ドアストッパーおよび、キャッチの取付け範囲**  
 ※下図の斜線範囲内にドアストッパー本体、又はキャッチを取付けてください。  
 ※壁取付け、床取付けドアストッパーは、キャッチの位置に合わせ、壁又は床に取付けてください。  
 ※ドアストッパー取付け時には、φ 1.5 の下穴をあけて手回しで固定してください。電動ドライバーなどの電動工具で締付けると空回りすることがあります。

●アルミ扉の場合 ●アルミ扉以外の場合



※規格品ドア本体(アルミ扉以外)には、工場出荷段階より内蔵ドアストッパーが取付けられています。  
 内蔵ドアストッパーが取付いている個所には、オプションドアストッパーの後付けはできません。

■子扉のガタツキ調整(フランス落とし受けによる調整)

**1 子扉がガタつく**

①コインなどで穴部分を回転させ、ロック棒をフランス落とし受けの内側に当てるようにしてください。

500円玉

**【フランス落とし受け】**

ロック棒

■納まり図

■標準/トイレドアユニット ケーシング付

●縦断面図

H呼称(枠外寸法)	H18 (1823)	H20 (2023)
W呼称(枠外寸法)	W06 (734)	W07 (780)
A寸法	609	655
B寸法	666	712
標準	W065 (754)	W08 (824)
A寸法	629	699
B寸法	686	756
ドアユニット	W09 (868)	W06 (648)
A寸法	743	523
B寸法	800	580
ドアユニット	W07 (780)	W08 (824)
A寸法	655	699
B寸法	712	756

●横断面図

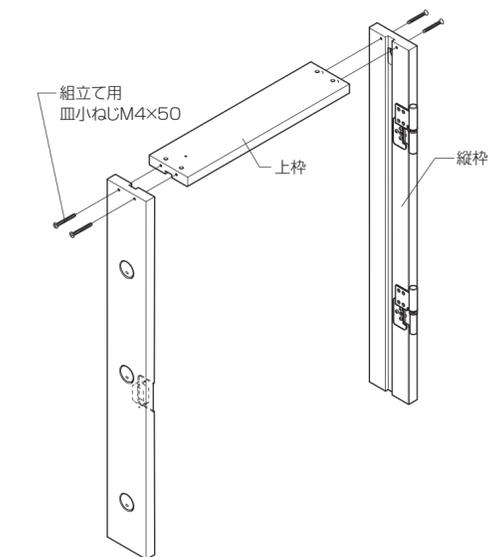
※枠の見込み寸法が変わっても、沓すりの位置は縦枠の開き側より共通の位置となります。

■取付け順序

1 枠の組立て

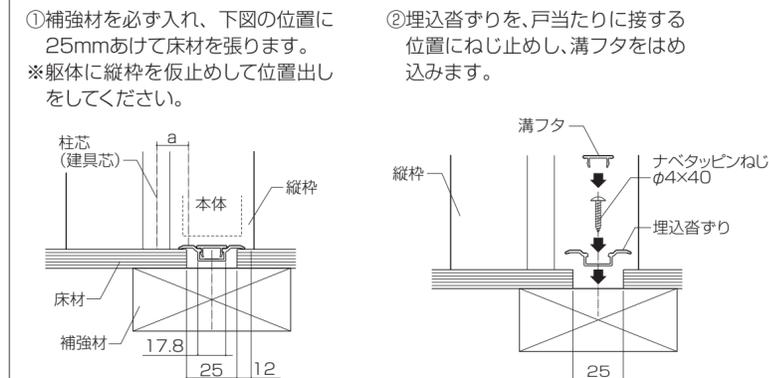
【3方枠の場合】

●下図のように各部材を組合せ、同梱のねじで固定します。



●お願い  
 ※組立てねじは、縦枠とねじ頭が面一になるまで締込んでください。

【3方枠に埋込沓すりを使用する場合】

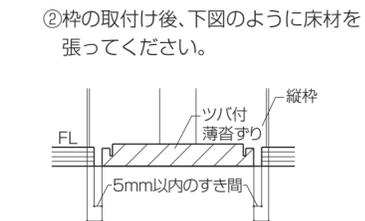
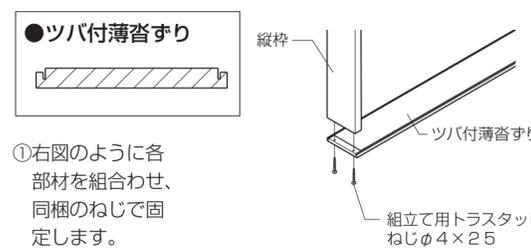


枠機種	NC90	NC115	NC156	NC171	NC180	C付115(薄壁)	C付142(厚壁)
a寸法	8	20.5	41	48.5	53	20.5	34

●お願い  
 ※枠組立て後、揺らす・引張るなどの無理な力を加えないでください。破損の原因になります。  
 ※ねじは、たたき込まないようにしてください。保持力低下などの原因となります。

【3方枠にツバ付薄沓すりを使用する場合】

※縦枠と上枠の組立ては、3方枠の場合の記載を確認してください。



●お願い  
 ※床材とツバ付薄沓すりのすき間は5mm以内にしてください。ただし、キャスターや車いすなどの荷重がかかる場合は、すき間をあげないでください。

【4方枠の場合(床後張り(枠先付け)の場合)】

※縦枠と上枠の組立ては、3方枠の場合の記載を確認してください。



■躯体への取付け方

※ツバなし/ツバ付 薄沓すり共通

●床材厚さ12mm  
 ※必ず薄沓すりに接着剤(現場手配)を付け、躯体に固定してください。

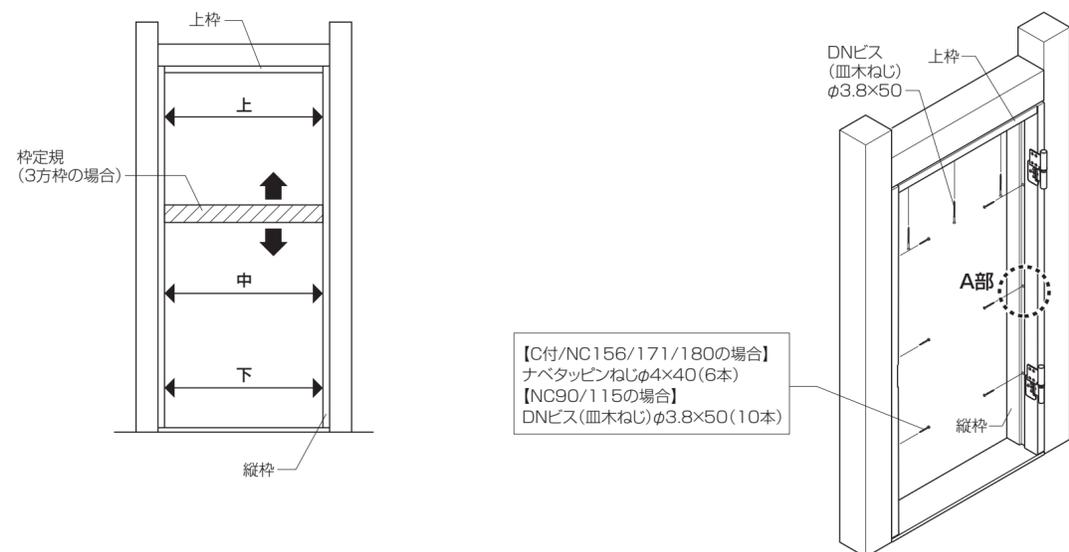
薄沓すり 接着剤(現場手配) 床材

●床材厚さ15mm  
 ※必ず薄沓すりと下地材に接着剤(現場手配)を付け、躯体に固定してください。

薄沓すり 下地材(現場手配) 接着剤(現場手配) 床材

下地材(現場手配) (t=3mm)

## 2 枠の取付け



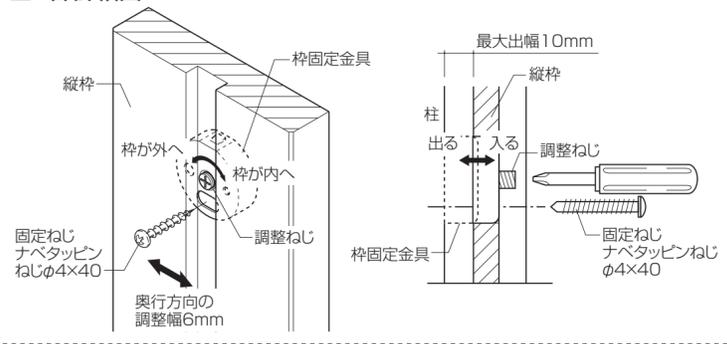
### 【C付/NC156/171/180の場合】

- 縦枠に取付けられている枠固定金具(縦枠に3個取付け)の調整ねじを時計回りに回し、金具を均等に出してください。
- 枠の垂直を確認してください。
- 固定ねじ(ナベタッピンねじφ4×40)を枠固定金具の長穴中央部分より締付けてください。
- 枠の奥行方向の倒れを確認してください。倒れている場合は、固定ねじをゆるめ、枠を動かします。(奥行方向の調整幅は6mmです。)調整後、ねじを固定してください。
- 開口寸法(W方向)が上・中・下の個所で揃っていることを確認してください。(3方枠の場合は、枠定規を当てて確認してください。)開口寸法が大きい場合は、調整ねじを時計回りに回し、小さい場合は、反時計回りに回して枠を調整してください。(左右方向の調整範囲は片側で10mmです。)
- 再度、枠の垂直を確認してください。
- 上枠をかい木を入れてDNビス(皿木ねじ)φ3.8×50で固定してください。

※縦枠の固定個所を増やしたい場合は、予備の上枠取付け用 DNビス(皿木ねじφ3.8×50)で固定してください。(3方枠の場合は、枠定規を当てて確認してください。)

**お願い**  
※枠固定金具の調整には、電動ドライバーを使用しないでください。  
※必ず内装ボードは縦枠に突きあてて施工してください。突きあてができない場合は、必ずかい木を入れてください。

### ■A部詳細図

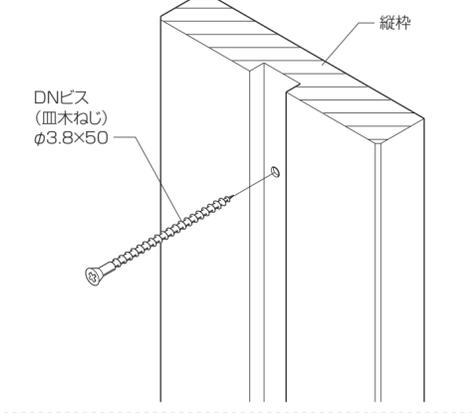


### 【NC90/115の場合】

- 枠を DN ビス(皿木ねじ)φ3.8×50 にて垂直になるように調整してかい木を入れて仮固定してください。  
※埋込沓すりを使用する場合は、上枠・縦枠のみ固定します。
- 開口寸法(W寸法)が上・中・下の個所で揃っていることを確認した後、本固定してください。(3方枠の場合は、枠定規を当てて確認してください。)

**お願い**  
※軽量鉄骨に直接取付ける場合は、現地にて鉄骨までかかる長さのねじを手配してください。

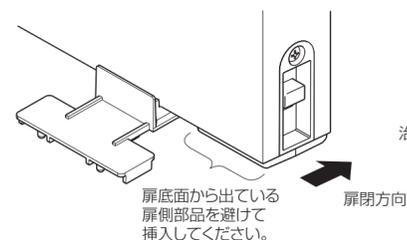
### ■A部詳細図



## 【取付け方法】

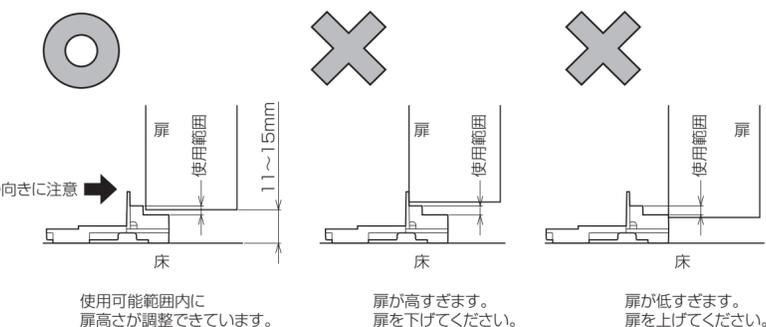
### 1 取付治具で扉と床の距離を確認する

- 扉を停止させたいところまで扉を開き、扉底面から出ている扉側部品を避けて取付治具をゆっくり押し当てて、扉と床の距離を確認します。



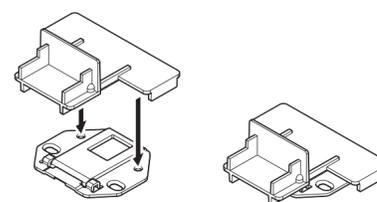
※本体は左吊元を示しています。

- 扉を使用範囲を越えている場合には下記の方法で扉高さの調整を行ってください。



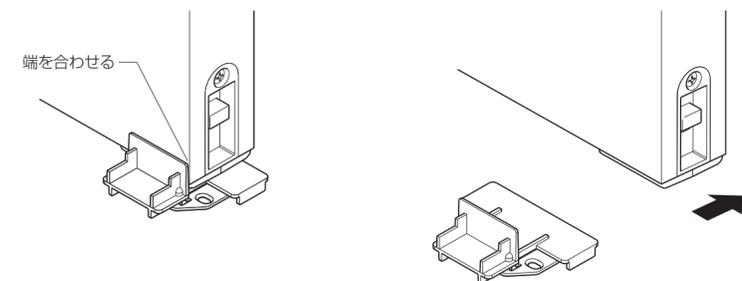
### 2 取付治具と受け部品を組み合わせる

- ベースの2箇所穴に取付治具裏面の凸部をはめ込んでください。



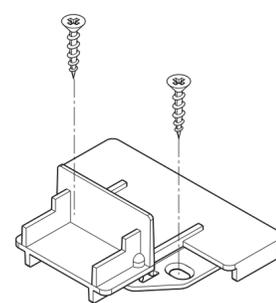
### 3 組み合わせた受部品を取付位置にセットする

- 扉を停止させたい位置で取付治具の端を扉の端に合わせてください。
- 取付治具、受け部品を動かさないように手で固定し、扉を移動させてください。



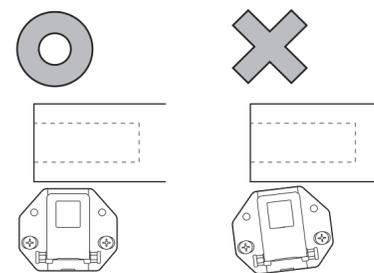
### 4 受け部品を固定する

- 受け部品の取付位置に下穴をあけ、付属のネジで固定してください。



### 5 取付状態および作動の確認をする

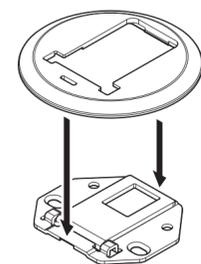
- 正しく取付けられていることを確認してください。



- ロックレバーが上がっている状態で本体が受け部品の真上にくるように扉を開き、正常に作動するか確認してください。
- ロックレバーを下げてロックができることを確認してください。

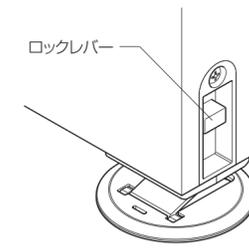
### 6 ベースカバーをはめ込む

- 必ず⑤の確認後、ベースカバーを取付けてください。
- 受け部品にカチッと音がするまでベースカバーをはめ込んでください。



## 【取扱い方法】

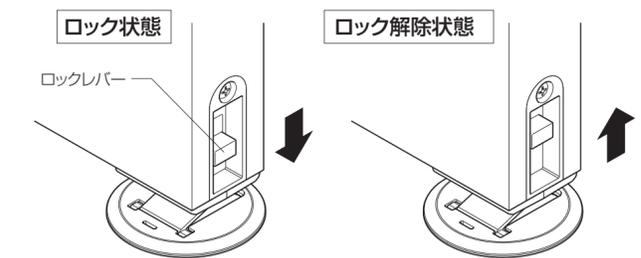
- 扉本体が受け部品に近づくとフラップが立ち上がり、ストッパーが作動します。



**お願い**  
※ロックレバーを下げたまま扉を開閉しないでください。部品が破損するおそれがあります。

※扉本体の開く速度が速すぎると作動しなかったり、部品が破損するおそれがあります。

- ロックレバーを下げてロック状態にすると扉を開いた状態を維持します。

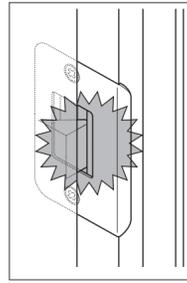
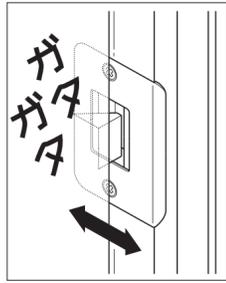


※ロックの際はフラップが本体の奥まで完全に入っていることを確認してください。  
※ロック解除の際は、ロックレバーを完全に上げてください。  
※ロックレバーを下げたまま扉を開閉しないでください。部品が破損するおそれがあります。

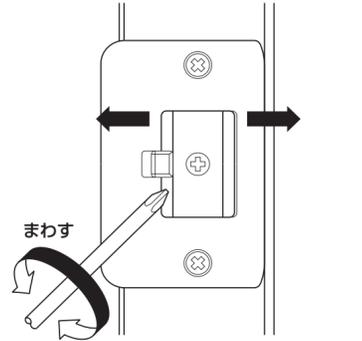
### ■建付け調整 (ストライクによる調整)

●ラッチがストライクの中でガタついたり、ラッチがかかりにくい場合はプラスドライバーでストライクの調整ねじを回して調整してください。

■ラッチがストライクの中でガタつく ■ラッチがかからない



ストライク調整ねじ  
可能調整範囲±3mm

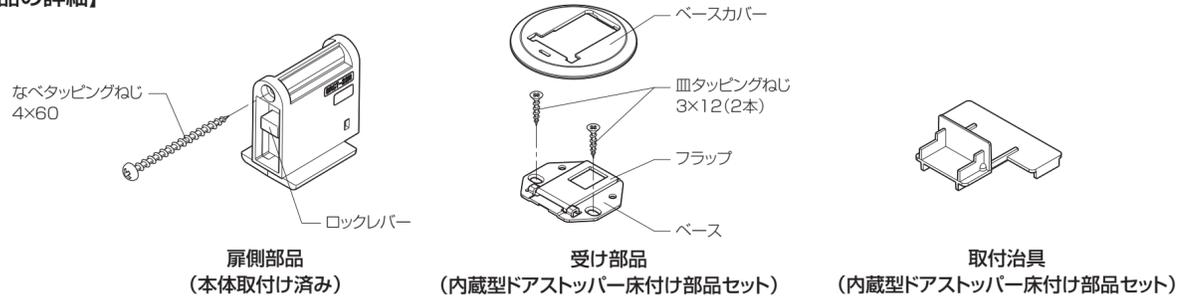


### ■内蔵型ドアストッパー床付け部品の取付け

●取付け上・取扱上のお願

- 取付けは木質床材専用です。じゅうたん・クッションフロア等の軟質床材へは取付できません。
- 取付け前に扉の建て付け調整を必ず行ってください。
- 取付け治具を使用して扉と床の隙間の確認を行い、扉と床の隙間が 11 ~ 15mm となるように扉高さを調整してください。扉と床の隙間を 11mm 以下もしくは 15mm 以上にするとストッパーが作動せず、扉が壁などに衝突するおそれがあります。
- 床暖房システムを使用している部分では使用しないでください。
- 本製品のネジ締付時には手動ドライバーもしくはクラッチ付のドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ネジの空回り、ネジ頭部の破損、つぶれの原因となります。
- ロックが掛かった状態で扉本体にもたれかかったり、引っ張ったりしないでください。ストッパーが破損するおそれがあります。
- 磁気商品(テープ、カード、時計、精密機器等)を本体に近づけないでください。使用できなくなるおそれがあります。
- 受け部品(床付け部品)にワックスをかけないでください。作動不良の原因になります。万一ワックスをかけてしまった場合は、ワックスをきれいに拭き取ってください。
- 受け部品(床付け部品)にホコリ・砂がかかった場合は、掃除機などで取り除いてください。作動不良の原因になります。
- フラップに磁気を帯びさせないでください。作動不良の原因になります。
- 扉側部品にお湯をこぼしたり、暖房機器による熱風等を与えたりしないでください。故障の原因になります。

### 【部品の詳細】

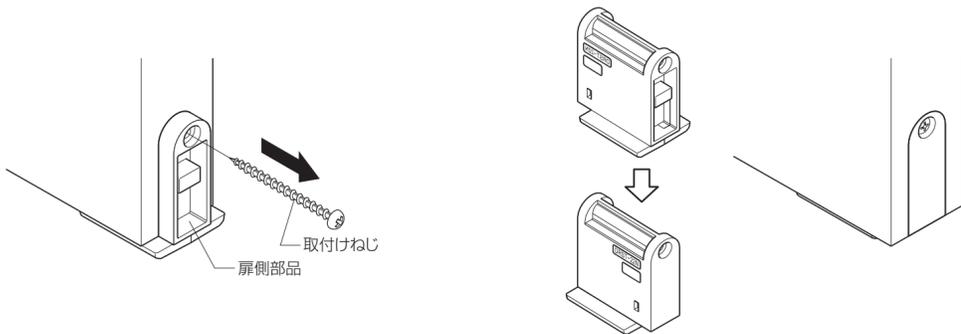


### 【ドアストッパー機能を使用しない場合】

※下記対応で、ストッパー機能をなくすことが可能です。

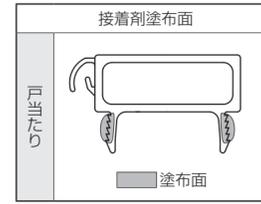
①取付けねじをゆるめ、扉本体から扉側部品を外してください。

②扉側部品をひっくり返し(木口面からロックレバーが見えない状態)、再び取付けてください。



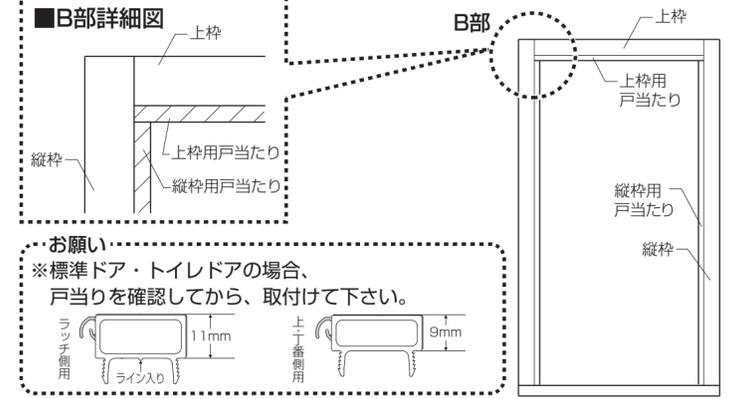
### ■3戸当たりの取付け

- ①現場で戸当たりの寸法を合わせて切断してください。
- ②戸当たりの足の外側(リップのある面)に接着剤(現場手配)をつけ、固定してください。(塗布面は下図参照) 接着剤(現場手配)がはみ出した場合は必ずふきとってください。 ※戸当りは、埋込沓より先に取付けてください。 ※上枠用→縦枠用の順に取付けてください。

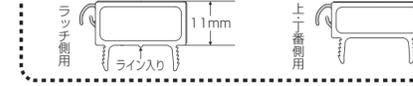


お願い  
※ハンマーなどで直接たたき込まないでください。

### ■B部詳細図

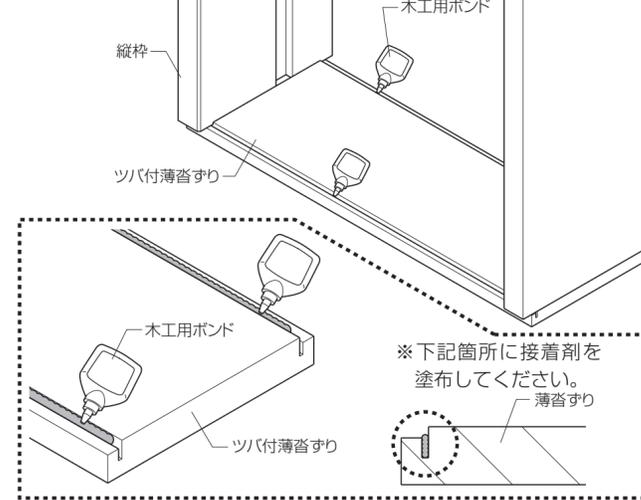


お願い  
※標準ドア・トイレドアの場合、戸当りを確認してから、取付けて下さい。



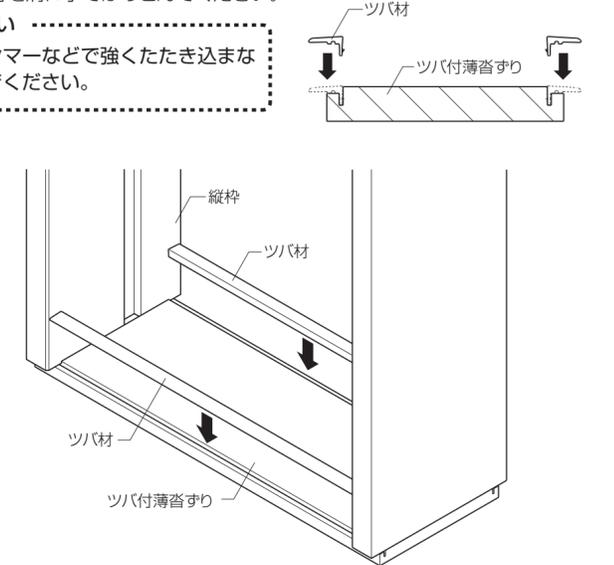
### ■4ツバ材の取付け (ツバ付薄沓すりを使用する場合のみ)

- ①現場でツバ材の寸法を開口に合わせて切断してください。
- ②薄沓すりの溝に木工用ボンド(現場手配)を溝全長に隙間無く塗布してください。



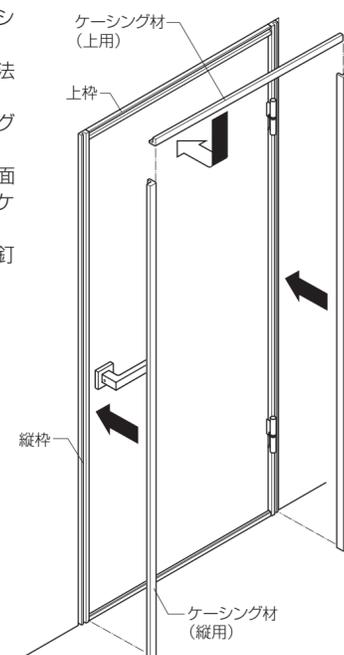
※下記箇所に接着剤を塗布してください。

お願い  
※ハンマーなどで強くたたき込まないでください。



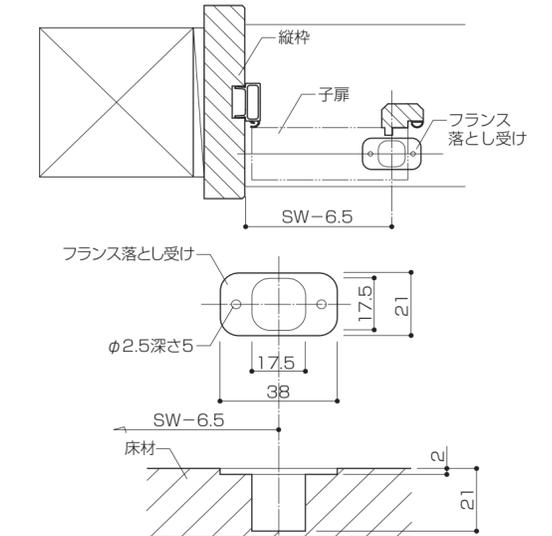
### ■5ケーシング材の取付け(ケーシングタイプのみ)

- ※壁材・床材を仕上げしてからケーシング材を取付けてください。
- ①別梱のケーシング材を現場寸法に合わせて切断します。
  - ②枠のケーシング溝へケーシング材を差込みます。
  - ③ケーシング溝とケーシング材裏面に接着剤(現場手配)を塗布し、ケーシング材を固定します。
- ※仮止めする場合は、専用かくし釘をご使用ください。



### ■6フランス落とし受けの取付け(親子ドアの場合のみ)

- ①下図に従い床面を加工します。
  - ②フランス落とし受けを床面にはめ込み、木ねじで取付けます。
- ※専用の沓すりを使用する場合は、フランス落とし受けは取付け済みです。



## 7 ドア本体の取付け

①ドア本体に、本体側丁番を皿タッピンねじφ4×20(枠側丁番にテープ止め)で取付けます。(C・C部)  
 ※アルミ扉の場合は、本体側丁番を皿小ねじM4×25(ドア本体側上丁番加工部にテープ止め)で取付けてください。

※ドア本体は左右兼用です。取付けの際は、ドア本体の上下を確認してください。

②下丁番カバーを上げます。

③上丁番カバーを外してください。

④本体側上丁番の軸を止まるまで上げます。(C部)

※軸は8mm程残した位置で止まります。

⑤本体側下丁番を枠側下丁番に差込みます。(E部)

※本体側下丁番の軸を垂直に差込んでください。

⑥本体側上丁番の軸を枠側上丁番のU字型溝にはめ込み、ドア本体を吊込みます。

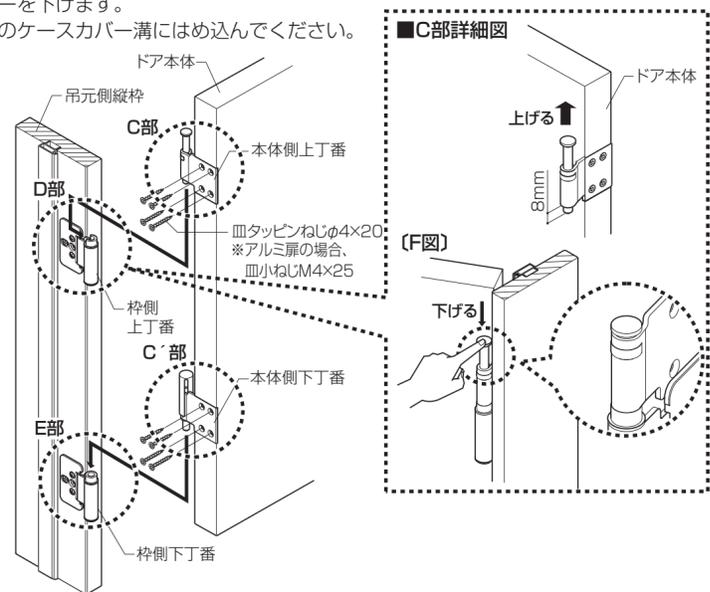
⑦本体側上丁番軸を止まるまで下げてください。(F図)

⑧上丁番カバーを取付けます。

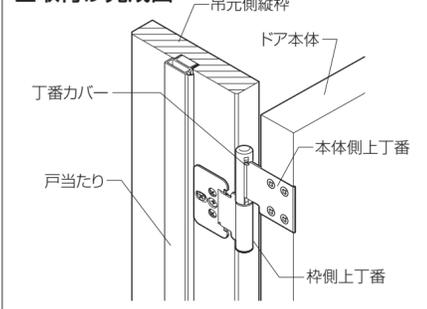
※枠側上丁番のケースカバー溝にはめ込んでください。

⑨下丁番カバーを下げます。

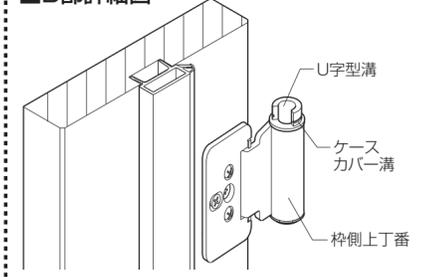
※枠側下丁番のケースカバー溝にはめ込んでください。



### 取付け完成図



### D部詳細図



**お願い**  
 ※本体を保管する際は、下記の状況にあたる場所には置かないでください。  
 ・直射日光の当たる場所  
 ・昼夜などで温度差の激しい場所  
 ・湿気が多い場所  
 本体のソリ・ねじれなどの原因になります。  
 ※長期にわたる本体の立て置き保管はせずに、寝かせた状態での保管としてください。  
 本体のソリ・ねじれなどの原因になります。

### 注意

- 本体を吊込んだ後、本体側上丁番の軸を必ず押下げてください。軸が下がっていないと、本体脱落の原因となります。
- 建付け調整後本体・枠への固定ねじおよび丁番本体の止めねじが必ず締まっていることを確認してください。丁番固定ねじの締め忘れ・ゆるみなどは、本体脱落の原因となります。

## 建付け調整(丁番による調整)

※建付け調整は必ず、手回しドライバーを使用してください。

※電動ドライバーは、使用しないでください。ねじ頭が壊れるおそれがあります。



上下の調整	不具合例	調整方法	不具合例	調整方法
<ul style="list-style-type: none"> <li>●本体側下丁番で調整します。</li> <li>●調整幅は、上(3mm)、下(3mm)です。</li> </ul>	<b>1. ドアの上部が枠に当たる。</b> 	①本体側下丁番のキャップを外す。 ②上下調整ねじを左に回しドアを下げて位置を決める。 ③キャップをはめる。 	<b>2. ドアの下部が枠に当たる。</b> 	①本体側下丁番のキャップを外す。 ②上下調整ねじを右に回しドアを上げて位置を決める。 ③キャップをはめる。 

左右の調整	不具合例	調整方法	不具合例	調整方法
<ul style="list-style-type: none"> <li>●枠側上丁番及び枠側下丁番の両方で調整します。</li> <li>●調整幅は、吊元側に1.5mm、開き側に1.5mmです。</li> </ul>	<b>1. ドアの開き側が枠に当たる。</b> 	①固定ねじをゆるめる。 ②左右調整ねじを右に回してドアを吊元側に移動し位置を決める。 ③固定ねじを締める。 	<b>2. ドアの開き側のすき間が大きすぎる。</b> 	①固定ねじをゆるめる。 ②左右調整ねじを左に回してドアを開き側に移動し位置を決める。 ③固定ねじを締める。 

前後の調整	不具合例	調整方法
<ul style="list-style-type: none"> <li>●枠側上丁番及び枠側下丁番の両方で調整します。</li> <li>●調整幅は、前(3mm)、後(1mm)です。</li> </ul>	<b>1. 開き側の枠が前に出ている。</b> 	①固定ねじをゆるめる。 ②前後調整ねじを左に回してドアを前に移動させる。 ③固定ねじを締める。 
	<b>2. 吊元側の枠が前に出ている。</b> 	①固定ねじをゆるめる。 ②前後調整ねじを右に回してドアを後に移動させる。 ③固定ねじを締める。 